

第10回 としよかんまつり

12月1日(木)～11日(日) 問い合わせ☎590-1301

中央図書館でのイベント

とき	内容
1日(木)～7日(水)	①雑誌リサイクルフェア
1日(木)～	②本の福袋
1日(木)	おはなし会(としよかん)
3日(土)	おはなし会(かがやき)
6日(火)	おはなし会(ぶうふ)
9日(金)・10日(土)	一般向け上映会「僕は漁師になった」
10日(土)	⑤毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日
10日(土)	③かたつむり「クリスマス会おはなし会」
11日(日)	④クリスマス会工作会「紙コップでつくる世界でひとつだけのパペット」
11日(日)	子ども向け上映会「あらいぐまラスカル」

「としよかんまつり」の期間以外の催しもたくさん!詳しくは26ページへ

丹波篠山市民センターでのイベント

とき	内容
1日(木)～7日(水)	①雑誌リサイクルフェア
1日(木)	おはなし会(くまさんのへや)
3日(土)	英語で楽しむおはなし会
4日(日)	おりがみワークショップ
10日(土)	おはなし会(としよかん)

イベント

1 雑誌リサイクルフェア

保存期限が終了した雑誌を、1人5冊まで無料でお持ち帰りいただけます。持ち帰り用の袋は各自でご用意ください。
※なくなり次第終了。

2 本の福袋

中身が見えない袋にキーワードが書かれているので、それをヒントに借りてみたい袋を選べます。どのような本が入っているかはお楽しみ!

3 かたつむり「クリスマス会おはなし会」

手遊びや大型絵本、エプロンシアターなど、楽しい企画がいっぱいです。
とき 14:00～14:30
ところ 視聴覚ホール
主催 かたつむり
※内容は変更する場合があります。

特設コーナー

4 クリスマス会工作会

紙コップを使って世界でひとつだけのパペットを作ります。どなたでも簡単にできますので、ぜひ、ご参加ください。
時間 14:00～
ところ 創作活動室
対象 小学3年～6年

5 毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日

司書によるエプロンシアターやおはなし会などを開催します。

「わたしの今年が一番」

今年あなたが読んだ中で、一番おもしろかった本を教えてください。結果は、令和5年3月(予定)に中央図書館に掲示します。
投票期間 12月1日(木)～28日(水)
投票方法 中央図書館、丹波篠山市民センター図書コーナーに備え付けの投票用紙に記入し、投票箱に投函してください

「泣いている本」コーナー

本を大切に扱っていただこうと、貸し出し中に破れた本や、水濡れした本を展示します。
期間 12月1日(木)～28日(水)
ところ 中央図書館「展示ホール前」

丹波篠山市の ふるさと納税

11月・12月が本番!魅力をPRしよう!

今こそ! 丹波篠山のふるさと納税の魅力をPRすべき理由

丹波篠山の魅力が満載のシーズン!

黒大豆やぼたん鍋など丹波篠山のおいしい魅力があふれる時期です。



年末に向けて寄付が集中!

例年11～12月の2か月で全体の約6割の寄付をいただいています。



1～10月の寄付
11月・12月の寄付
約6割!

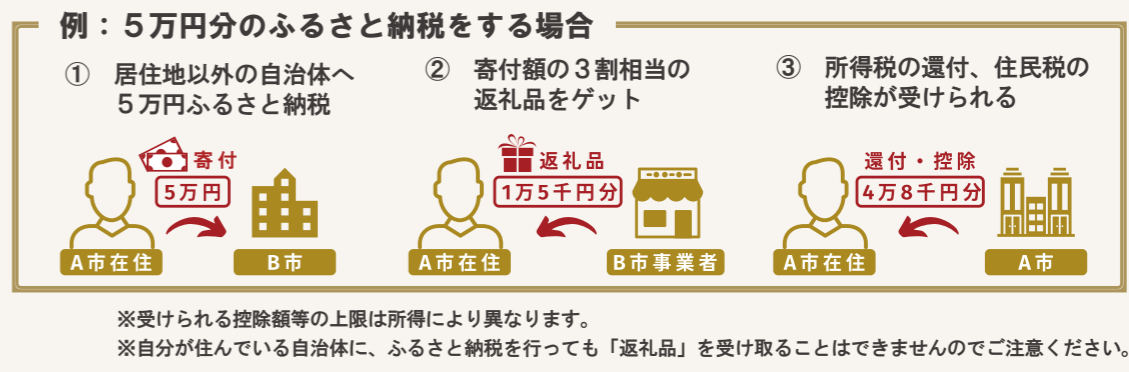
寄付額の割合(イメージ)

市外にお住まいの出身者やご家族、ご親戚、ご友人のみなさまへぜひ丹波篠山のふるさと納税の魅力をお伝えください!

▶ ふるさと納税が増えると...
「豊かな自然環境の保全」や「農の都としての農業振興」などに活用し、市民サービスの向上につながります!

ふるさと納税とは、出身地に限らずあなたが応援したい都道府県や市町村へ送る寄付金のこと。自分が生まれ育ったふるさとに貢献したい、住んだことはないけれど心のふるさととして応援したい、そのような思いを形にするために設けられた制度です。

● どういう仕組み?
本来は住んでいる自治体に納めるはずの税金を、任意の自治体に寄付することで、住民税や所得税の控除に加え、返礼品が受け取れる仕組みです。



古文書にみる
「丹波篠山の特産あれこれ」

「黎豆」は「黒大豆」のことなのか？

丹波篠山での黒大豆栽培を確実に示す最古の歴史史料は、江戸時代の料理本「料理綱目調味抄」です。これは享保15年(1730)に書かれています。

しかし、それよりも古い享保元年(1716)発行の「篠山封疆志」※1)には「土産」が紹介され、そこには「黎豆(れいまいめ、くろまめ)」が登場します。

さて、これは現在の「黒大豆」のことなのか、はたまた別の豆なのか？謎解きをしてみましょう。

さまざまな史料をあたってみると、寛政12年(1800)発行の「成形圖説」(18巻)が見つかりました。これは現在でいうイラスト付きの百科事典のようなものです。

ここには「黎豆(れいまいめ)と書かれ、莢(さや)のイラストは全く違うものでした。当時、丹波篠山で本場に「黎豆」が作られていたのか、「黒大豆」を「黎豆」と見間違ったのか謎です。

したがって、いずれにしても「黎豆」≠黒大豆と見なすことはどうも疑わしい」というのが現在の見解です。



(出典：国立国会図書館デジタルコレクション)

とてもロマンのあるエピソードですね。今後、新しい説や史料が発見されるかもしれません。「黎豆」に関する新しい情報がありましたら、お寄せください。次号もこうした歴史史料について語っていきます。ご期待ください！

※1) 篠山封疆志：江戸時代の享保年間に活躍した篠山藩の儒学者、松崎蘭谷によって篠山藩領内の古跡、寺社、名産などについて書かれた現在でいう郷土史のようなもの。

夢への
かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

篠山東雲高等学校飼育の肉牛が兵庫県畜産共進会に出品



篠山東雲高等学校で飼育されている肉牛「照丸号」が、10月27日に淡路家畜市場で開催された、但馬牛の品質を競う兵庫県畜産共進会への出場を10年ぶりに決めました。

この共進会の肉牛の部には、県内トップの畜産農家が育て上げた肉牛約60頭が出品。そのうち1頭だけ設けられている学校枠に、9月に実施された農大・農高枠選考会を勝ち抜き、出場権を獲得しました。飼育を担うメンバーの1人・桐村紫音さんは、「2年間育ててきたので、別れるのはさびしいですが、上位をめざしてがんばりたい」と話しました。

◀飼育に関わった乗本拓真さん、堀井雅史さん、桐村紫音さん、早水琉華さん(左から)

大学連携
でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎506-2366

学生・アクション
ラーニング

プロジェクト型授業・実践農学

神戸大学の食農コープ教育プログラムの授業「実践農学」は、「入門」の授業を経て丹波篠山をもっと知りたい、実践につなげたいという学生が受講しています。今年度は、西紀北地区で「楽市楽座」と「カヤ場でビジネスを起こそう」、城北地区で「むらの広報企画」の合計3つのプロジェクトに取り組んでいます。

5月から各受け入れ地区で泊まりがけの実習を数回行い、学生たちは「丹波篠山は、地域の方々の温かい人柄が一番の魅力！」と感想を述べていました。

「楽市楽座」グループは、授業外でも地域を訪れ、キャッチフレーズやポスターデザイン、ステージの企画などについて地域の方々と相談を重ねました。10月16日のイベント本番はお天気にも恵まれ、「大成功！」とお褒めの言葉をいただきました。

(清水夏樹さん：神戸大学農学研究科特命准教授)



【カヤ場でビジネスを起こそうグループ】(6月)
移植・除草をして再生したカヤ場は冬に収穫です



【むらの広報企画グループ】(9月)
作業道の修繕のお手伝い



【楽市楽座グループ】
(10月)
ステージの司会進行も務めました

活動についてのお問い合わせは地域おこし協力隊コーディネーターまで！ ☎506-2366

ご意見
募集中です

送付方法

1) 電話・FAX

☎ 552-1114

FAX 552-2090

2) メール

norin_div@city.
sasayama.hyogo.jp

3) ホームページ

下記の二次元コードを
読み取ってください

